

カズノコが縁で在札幌カナダ名誉領事に就任

井原 慶児氏



フォーカス

カナダ産カズノコを日本に普及させた功績が認められ、昨年11月、在札幌カナダ名誉領事に就任した。資金を投じ、4月上旬には札幌市にカナダ産品を紹介する展示場を設ける。農業や畜産業の技術交流会、在日カナダ人の支援にも力を注ぐ。「日加の橋渡しを進めたい」と意気込む。

交流足かけ40年、日加の橋渡し役に

時はカズノコの原料となるニシンが北海道沖で激減した時期。「カナダに買い付けに行く父と一緒に戻った」と振り返る。当時、カナダでニシンはほとんど食用に回らず、肥料に使う安価な魚だった。78年から14年間、バンクーバーに駐在し、カズノコやサケの買い付けにあたった。現地の加工業者と二人三脚で冷凍技術の向上に挑み、カナダ産カズノコを日本の高級ブランドに育てた。

「豊かな自然と、おそろかで信義を大事にするカナダ人の性格にも魅了された」。現地ではスキー大会に飛び入り出場し、優勝した経験もある。

同社はサケの皮から抽出したコーゲンの化粧品向けの製造・販売などにも力を入れている。これもカナダ駐在時代にヒントを得た。「カナダのおかげで当社は大きくなったようなもの」。足かけ40年間、公私ともにかかわってきた国とあって、感謝しにかける思いは強い。

井原はら・けいじ、58歳